

I 実践

1 研究主題

豊かな人権感覚を磨き、人権意識を高める教育活動の工夫

(1) 主題設定の理由

本校では、県や市の教育目標や人権教育の視点を受けて、人権教育の経営方針として「学校教育全体を通して、人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動を推進するとともに、発達段階に応じた児童一人一人の健全な人権感覚を育成する」と掲げている。その実現を図るために「豊かな人権感覚や人権意識を育む教育活動の工夫と年間指導計画の工夫・改善」を努力点としている。

(2) 研究の内容

ア 教職員研修の充実

定期的な職員研修を通して、教職員間の人権意識の向上と「特別の教科 道徳」の資料の整理・整備を図る。

イ 学年・学級経営の中で

一人一人の心の居場所があり、自他の良さを感じ、認め合える温かな関わり合いの場をつくりながら、個の良さが発揮できる望ましい学級集団づくりに努める。

ウ 「特別の教科 道徳」の中で

個人の尊厳についての自覚を深めることができるように、生命尊重の心、感謝の心、思いやりの心、公正・公平な態度などを中心に人としての生き方や感性が身につけられるように努める。

エ 「特別活動」の中で

児童の自主的・主体的な活動を重視した様々な活動の中で、互いの良さを認め合い協力し合うことができるようにする。

オ 各教科学習の中で

各教科での学習活動を通して、互いに良さを認め合ったり尊重し合ったりしながら、一人一人の児童の良さを伸ばしていく学び合いが展開できるようにする。

カ 「総合的な学習の時間」の中で

体験学習や課題解決学習の中で、人間的なふれあいを通して思いやりや平等、人権の精神の育成を図る。

キ 「外国語活動・外国語」の中で

外国語の学習活動を通して、他国の文化および自国の文化や歴史を理解・尊重する態度の育成に努める。

ク 家庭・地域への啓発

家庭・地域との連携を積極的に図り、人権教育への理解・協力が得られるようにする。

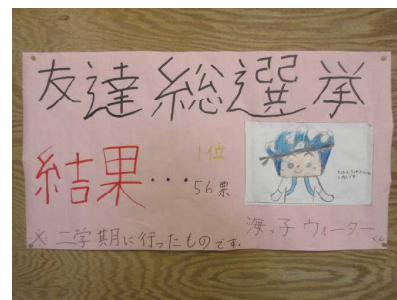
2 実践の内容

(1) 児童会活動の取り組み

計画委員会の児童が中心となり、『スーパー元気ニコニコ学校にしよう！』というテーマのもと、「みんなが仲良くするために、自分にどんなことができるか」について考えた。各クラスごとに、宣言することを書き出し、『みんなの掲示板』に掲示することで、実践への意識づけを図った。



本校のキャラクター「よっちょれファイヤーくん」に友達をつくるという取組を行った。新しいキャラクターの募集を行い、集まったキャラクターを拡大掲示して、選挙を行った。1つの活動をみんなで行うことで、連帯感を味わうことができた。



(2) みんなの掲示板

掲示・美化委員会を中心に、『みんなの掲示板』を作成した。通年で各クラス1, 2回程度作品を展示したり、授業で使用したワークシートなどを掲示したりした。学期に一度、「ノート展」を開催し、各クラスごとに、よくまとめているノートや良い気付きが読み取れるノートを選出し、掲示した。児童は、友達や他の学年のノートを見ることで、まとめ方の参考にしたり、友達を称賛する言葉をかけたりしている。2学期は、図工科や国語科の優秀作品を掲示し、校内展覧会を開催した。3学期は、新年の抱負や願いを書き入れた。3月は、卒業する6年生へ向けての感謝の気持ちを表すことをテーマに、在校生が掲示板を作成する予定である。

(3) 異学年交流

例年、毎週木曜日に「ふれあいタイム」でクラス遊びや縦割り班での異学年交流を行っていた。今年度は、感染症予防の対策として、多人数での交流を制限し、ふれあいタイムの代わりに、2クラスずつの異学年交流会を行った。高学年の児童が中心となり、低学年の意見を聞き入れながら遊びの計画を立てた。交流を通して、児童同士の仲が深まり、また交流予定のない日にも共に誘い合って遊ぶ様子が見られている。

II 今後の課題

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の全国的な増加のため、感染者への差別・偏見をなくすための呼び掛けを行い、人権について考える機会が例年より多くあった。しかし、日常生活の中での児童間のトラブルは、コロナ禍とは関係なく見られる。そのため、言葉遣いや態度など、日頃の教育活動を通して指導を続けていく必要がある。また、学校のみならず、保護者や地域の方と一体となった人権意識の向上が課題である。これらを踏まえ、教職員も、人権の正しい理解を進め、児童の模範となるような人権意識の高い言動がとれるよう、研修及び啓発を充実していきたい。

III 人権コーナー設置の様子

1 各教室における人権コーナー

各クラスでは、「ありがとうの木」を設置し、友達への感謝の気持ちを紙に書いて紹介できるようにしている。また、「特別の教科 道徳」では、授業終了後、单元名を記録したものを、道徳コーナーに掲示している。



児童が目にするたびに学習したことを振り返り、生活の中で実践できるようにしている。

2 全学年を通した人権コーナー

全児童が利用する連絡通路に、人権コーナーを設置している。各クラスの「ありがとうの木」の写真や、児童が書いた「人権メッセージ」、人権に関する資料を紹介し、児童の人権に対する意識が高まるようにしている。